

## 人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。

なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の試料（例：血液など）や診療情報（例：カルテの情報など）をこの研究に使ってほしくないと思われた場合にも、下欄の問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。

《試料・情報の 利用目的及び 利用方法》	<b>●研究の名称</b> 血中病態マーカーの網羅的な定量解析による心不全治療薬の臨床効果および副作用発現の個人差解明
	<b>●研究の対象</b> 2023年12月～2028年11月に当院で心不全の治療薬を処方された方のうち、残余血を使用させていただく方 250名
	<b>●研究の目的</b> 現在、心不全の治療には主に4系統の心不全治療薬が使用されています（ $\beta$ 遮断薬、ミネラルコルチコイド受容体拮抗薬、アンジオテンシン受容体ネプリライシン阻害薬、SGLT2阻害薬）。これに加えて、患者さんの症状に応じて別の系統の治療薬が追加されることもあります（HCNチャネル阻害薬など）。これらの心不全治療薬の効果は、患者さん毎に大きな個人差があることが問題となっています。 心不全治療薬の個人差の理由として、患者さん毎に心不全の発症や増悪を引き起こす原因（病態）が異なっていることが考えられています。この研究では、血液中の様々な検査項目（病態マーカー）を調べることで、心不全の病態と治療薬の効果の関係を明らかにすることを目的としています。
	<b>●研究の期間</b> 研究機関の長による実施許可日から（西暦）2028年11月まで
	<b>●利用又は提供を開始する予定日</b> 研究機関の長による実施許可日
	<b>●他の機関に提供する場合には、その方法</b>

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

	<p>本学で測定困難な検査項目がある場合には、外部検査業者に血液検体を郵送して測定を依頼することがあります。</p>
<p>《利用し、又は提供する試料・情報の項目》</p>	<p>●研究に使用する試料・情報</p> <p>カルテから収集する情報： 年齢、性別、既往歴、合併症、アレルギーの有無、家族歴、服薬状況、処方歴、入院歴、臨床転帰、身長、体重、血圧、脈拍、体温 等</p> <p>通常診療で発生する検体の余りを利用するもの： 血液検体（血漿・血清・血球中のDNA） 等</p>
<p>《利用する者の範囲》</p>	<p>●機関名および責任者名</p> <p>浜松医科大学 薬剤部 副薬剤部長 八木 達也</p>
<p>《外国にある者に対する試料・情報の提供》</p>	<p>該当なし。</p>
<p>《試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称》</p>	<p>浜松医科大学 薬剤部 副薬剤部長 八木 達也</p>
<p>《試料・情報の利用又は他の研究機関への提供の停止(受付方法含む)》</p>	<p>あなたの試料または情報を研究に使用することや、他の研究機関に提供することを望まない場合には、問い合わせ先まで連絡をいただければ、いつでも使用や提供を停止することができます。連絡方法は、以下《問い合わせ先》をご確認ください。</p>
<p>《資料の入手または閲覧》</p>	<p>この臨床研究の計画や方法については、あなたのご希望に応じて資料の要求または閲覧ができます。あなたご自分の研究結果を知りたいと希望される場合は、研究担当者にその旨をお伝えいただければ、他の研究対象者に不利益が及ばない範囲内で、あなた自身にあなたの結果をお伝えします。希望された資料が他の研究対象者の個人情報の場合には、資料の提供または閲覧はできません。</p>

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

《情報の開示》	あなたご自身が研究の概要や結果などの情報の開示を希望される場合は、他の参加者に不利益が及ばない範囲内で、原則的に結果を開示いたします。しかし、情報の開示を希望されない場合は、開示いたしません。 また、本研究の参加者以外の方が情報の開示を希望する場合は、原則的に結果を開示いたしません。
《問い合わせ先》	〒431-3192 浜松市中央区半田山一丁目 20 番 1 号 浜松医科大学  部署名： 薬剤部  担当者： 八木 達也  TEL： 053-435-2767  E-mail： <a href="mailto:pharmacy@hama-med.ac.jp">pharmacy@hama-med.ac.jp</a>